

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年十一月度 入選句（投稿総数三千四百三十三句・一般投句数五百二十八句）

特選

選者 長野 美代子

足枷がほどけて飲むや濁り酒

大垣市

高橋 柳邦

足枷とは何でしょうか。農家の方でしたら田仕舞が済んだのですか、又、停年退職をされたのかしらと想像をめぐらします。いづれにしても身も心もホッとされたのでしょうか。濁り酒がいいです。秀句ですね。

しなやかに入り日を紡ぐ芒かな

岐阜市

小湊 順子

言葉の美しい句です。作者を想像します。夕ぐれの芒の様が目に映り優雅な景が浮んで参ります。源氏物語りに出てくる物静かな心になります。美しい句です。

朝霧は今朝連山の帯となす

大垣市

辻 和代

朝霧の静かな景が見えて参ります。山の中腹を棚引く霧は美しいですね。朝の清々しさが心にしみて来ます。心やさしい句ですね。

秀逸

御嶽も伊吹も故山秋高し

愛知県名古屋市

舘野 茂子

賜日和照れつ手つなぐ老夫婦

大垣市

佐竹 余史美

縁側で夫とコーヒー秋麗

揖斐郡大野町

豊田 美見

大空に身を乗り出して松手入

岐阜市

岩上 利一

天気図に渦多き日を帰燕かな

安八郡神戸町

後藤 和朗

新蕎麦や近江へつづく切通し

不破郡垂井町

服部 智恵

遮断機を待つ間に仰ぐ秋の城

大垣市

立川 昌子

向かい風追い風もあり小鳥来る

大垣市

鶴田 信子

木の実降る午後の紅茶としませんか

大垣市

佐藤 すみ子

舗装路に体勢崩す蝗かな

安八郡神戸町

高橋 泰

入選

忘却は長寿の秘訣茗荷汁	大垣市	棚橋	みさを
秋空に一筆啓上ジエツト雲	大垣市	二村	光生
芋の露こぼすまひぞと遊びし日	大垣市	北浦	典子
一山は大きな巢箱色鳥来	養老郡養老町	田中	紫香
撫牛の背ナノ艶やか宮小春	養老郡養老町	田中	秀草
日が照るもにござれる雲や冬隣	愛媛県西条市	砂山	恵子
初埃まみれて急ぐ廻り道	海津市	横井	美圭
大海に群れとなりしか罫雲	京都府京都市	石田	一美
十六夜を二重に囲む暈白し	大垣市	多賀	英華
露草のまだ濡れてゐる朝日かな	大垣市	日比野	友子

入選

爽やかに操る竿やたらい舟	北海道札幌市	藤林	正則
金木犀花をポツケに登校す	大垣市	後藤	摩弓
雨上がる木々賑はしき小鳥来る	本巢市	小泉	裕子
秋さぶや翁真筆軸のしわ	石川県加賀市	上出	洵
紅葉散る瀬音風音鄙の宿	大垣市	森川	きよ子
読みさしの葉代りの落葉かな	愛知県名古屋市	舘野	茂子
藻畳にじゃれてゐたりし秋の鯉	美濃市	梅村	五月
くねる路その度毎の句碑の冷え	関市	浅野	公夫
蔦紅葉がんじがらめの空家かな	大垣市	岡田	あや子
色々な想い出爆ぜて鳳仙花	東京都足立区	東西	南北

選者吟

紅つける口尖らせて七五三

美代子